

第9回わのうち未来塾報告

- 1 期 日 令和3年8月16日(月)
A班 9時10分から11時30分 福東小・仁木小
B班 13時10分～15時30分 大藪小
- 2 研修場所 国営木曾三川公園 アクアワールド水郷パークセンター
- 3 講師 アクアワールド水郷担当者
- 4 参加者 福東小2名 仁木小13名 大藪小12名 計27名 欠席3名
- 5 内容

環境教育講座 A-11 「川を汚したのは誰だ」

源流から始まる川の物語を楽しみながら、川の水が変化していく様子を体験し、どうしたらきれいな水を取り戻せるか考える。川が汚れる原因に気づき、行動を見直すきっかけを作る。

○導入

- ・地球は好きですか。何色ですか。 水色
- ・輪之内町付近の川は。 揖斐川、長良川、木曾川。 揖斐川の源流は。

○展開

各班の児童が順に、大瓶の水(源流の水)に、茶色の小瓶の中身(物語のアンダーラインのゴミ等)を混ぜる。源流の水が順に汚れていくのを体験する。

源流

- ・源流の水に、木の葉が混ざる。

上流

- ・釣り人の、釣り糸の切れ端が川に残る。
- ・家族がピクニックをし、食事のゴミが残され、川に入る。

中流

- ・農家で畑に肥料や農薬をやる。これが川に入る。
- ・ある家でお母さんが唐揚げをし、残った油を流しに捨てる。それが川に流れてしまう。
- ・子どもが、ジュースを飲む。ジュースの残りを流しに流す。川に混じる。
- ・お母さんは洗濯をし、洗濯水が川に流れる。

下流

- ・火力発電所がある。酸性雨が降る。川に流れる。
- ・自動車が走ると、酸性雨が降ったり、地球温暖化になる。
- ・どんどんと汚れた水になる。

○まとめと発表

- ・ワークシートへの記入 「川を汚したのは誰だ。」 どうすれば川は汚れなかったかを考えてみよう。
- ・発表 ピクニックでゴミは持ち帰る。油は固める。ジュースは全部飲む。

6 感想等

- ・講師の説明がわかりやすく、実習内容にも興味を持てたので、どの児童も集中して参加することが出来た。

